

# グラフで見るインド経済 2022年4月号(No. 148)

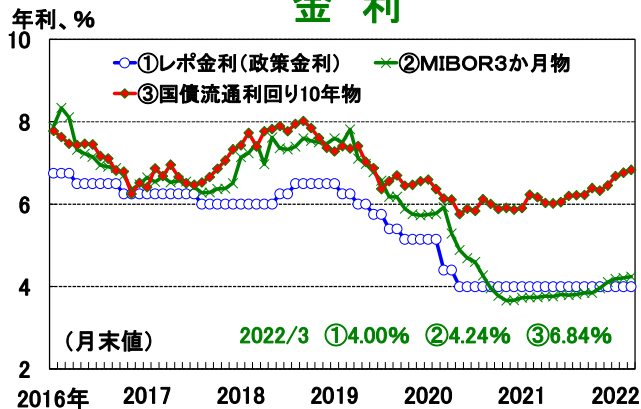
インドの景気は、一部で弱い動きがみられる。企業部門では、2月のコア産業生産指数が前年比+5.8%と前月の伸び(同+4.0%)を上回ったものの、同月の輸出は同+25.1%(前月は同+25.3%)とわずかながら2か月連続で減速した。3月の製造業PMIは54.0と9か月連続で中立水準(50)を上回ったものの、前月(54.9)に比べて低下した。その背景には、海外需要の減少や原材料価格の上昇が挙げられる。一方、家計部門をみると、2月の新車販売台数は前年比-6.5%と、国内のコロナ感染縮小を背景に、前月に比べてマイナス幅が縮小した。

## 【足元の景気判断】

指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	→	→	→	↑	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

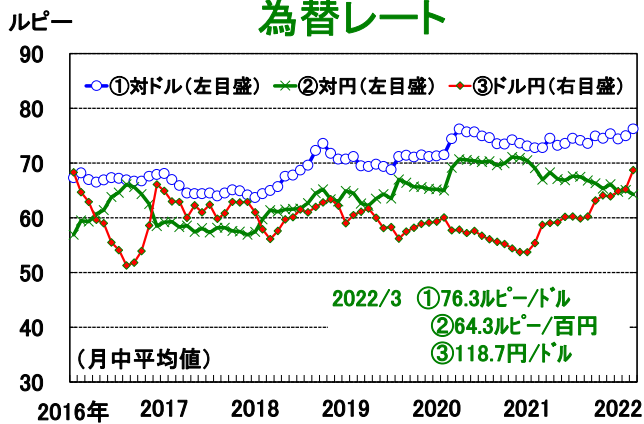
## 金利



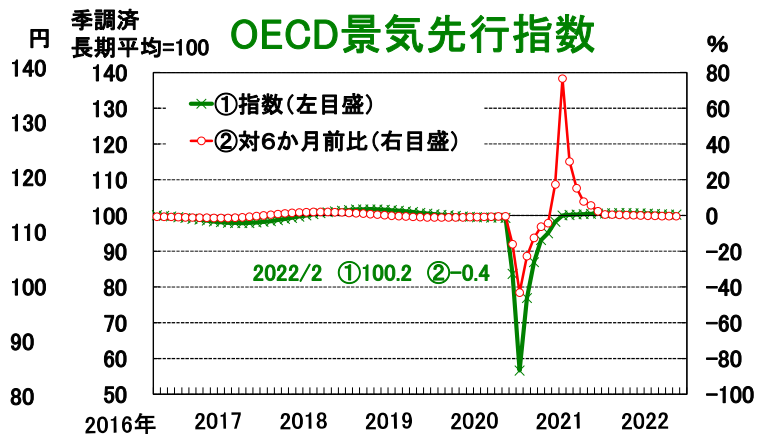
## 実質GDP成長率



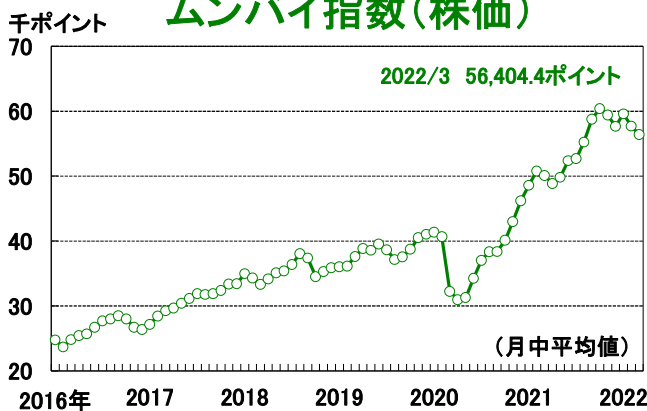
## 為替レート



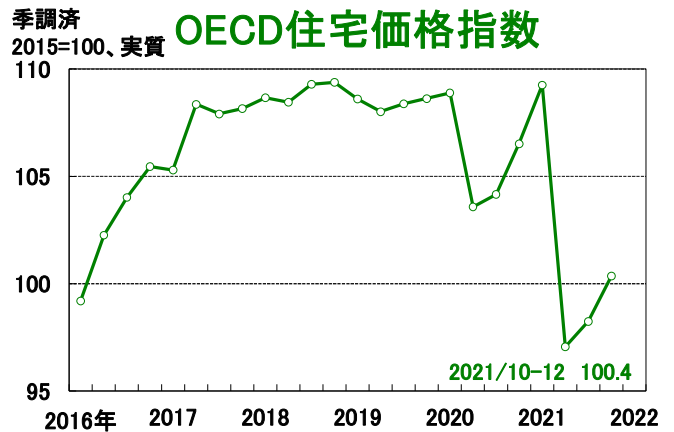
## OECD景気先行指数



## ムンバイ指数(株価)



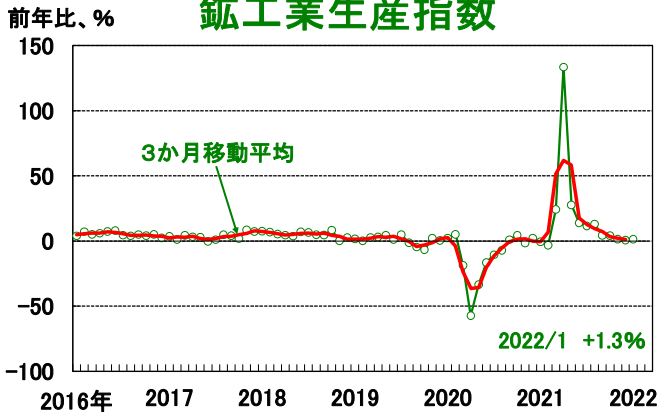
## OECD住宅価格指数



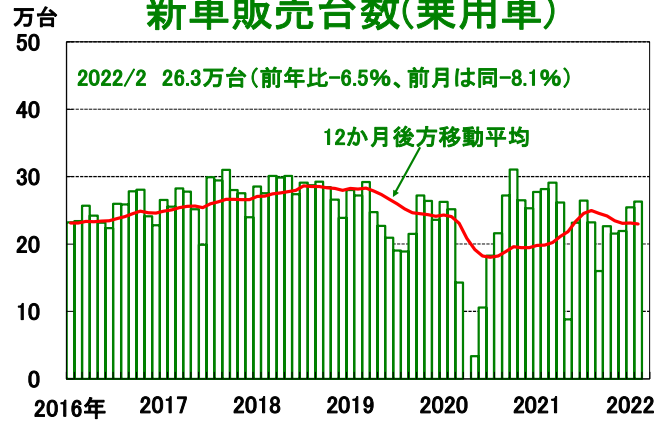
(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

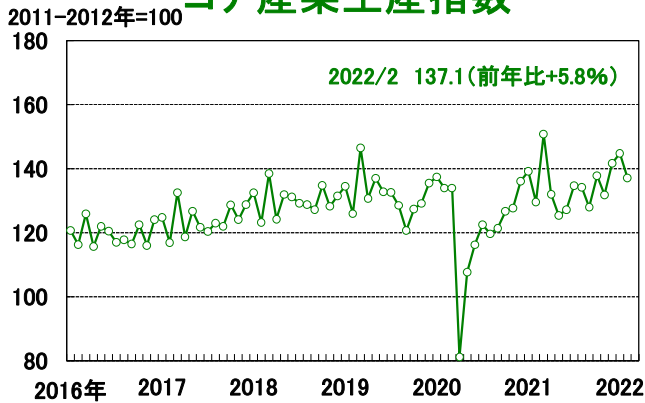
### 鉱工業生産指数



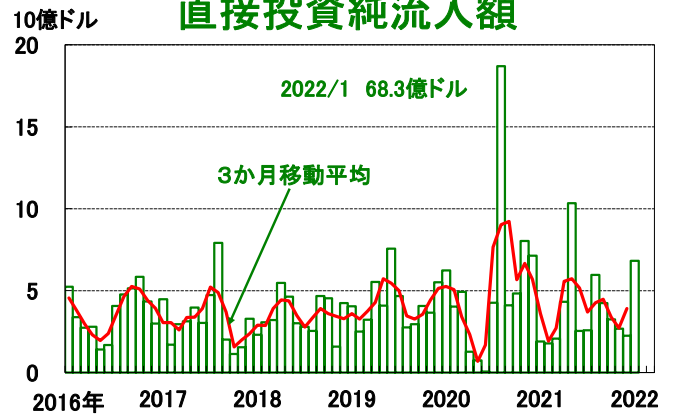
### 新車販売台数(乗用車)



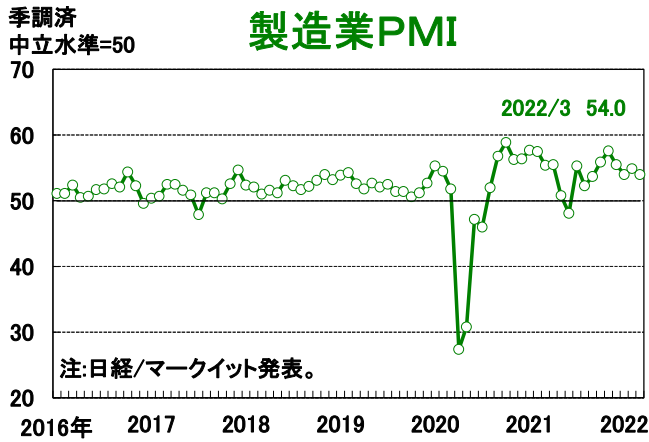
### コア産業生産指数



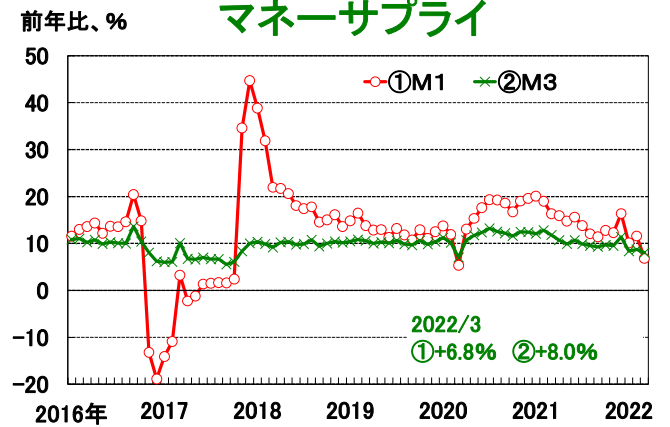
### 直接投資純流入額



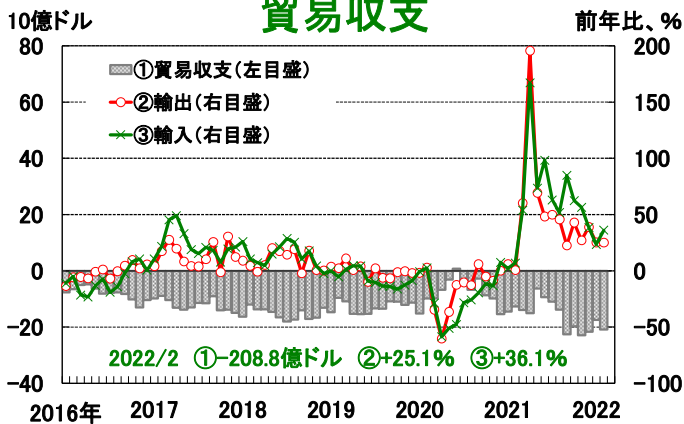
### 製造業PMI



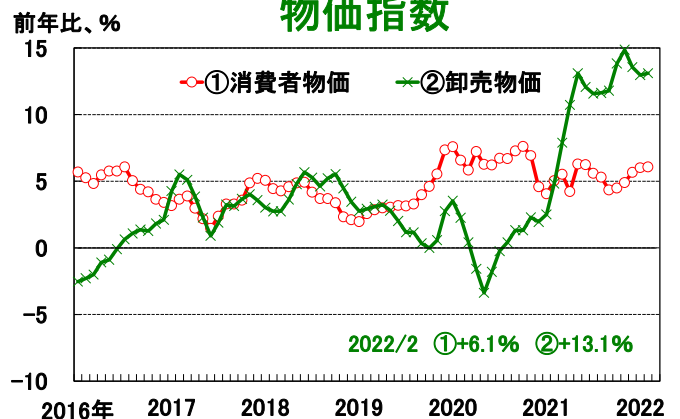
### マネーサプライ



### 貿易収支



### 物価指数



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。